

令和4年9月30日
浪江町立学校校舎等検討委員会

浪江町立学校の校舎等の今後の在り方の適正化を図るための
基本的方策について

答 申

1. はじめに

浪江町立学校校舎等検討委員会では、令和3年12月23日に浪江町長より「浪江町立学校の校舎等の今後の在り方の適正化を図るための基本的方策について」諮問を受け、

・津島小学校及び津島中学校、津島地区に設置してある津島保育所の校舎等の今後の在り方について意見を求められた。

これまでに津島地区にある津島小学校や津島中学校、津島保育所、つしま活性化センターの現状を確認するとともに、検討委員会を5回にわたり開催してきた。

検討委員会の議論の中では、各施設の状況や維持管理、また地区の方からの意見を吸い上げ、解体もやむを得ないのではないかと意見が出た。一方では、交流施設や調理場、遺構として利活用することはできないか、何とか津島地区の思いの詰まった校舎等を残せないか検討を重ねてきた。

それらを踏まえ、帰還困難区域となっている津島地区や町の現状や課題を確認しながら、校舎等の今後の在り方、利活用の方策等について検討を深めてきた。

この度、検討委員会において、議論を踏まえた答申を取りまとめるに至ったものである。

浪江町においては、津島地区の復興、ひいては町全体の復興のため、本答申の趣旨を生かし、具体的に施策を講ずるよう期待するものである。

2. 浪江町立学校校舎等に関する方策

- (1) 本検討委員会の中で津島地区の歴史や伝統文化の保存、展示において、多くの意見が出された。これらを適切に保存、展示するにあたっては、学校校舎等の利活用を含め検討を行うこと。
- (2) 利活用の検討にあたっては、将来的な浪江町の財政状況と維持管理経費を勘案し、財政圧迫とならないよう、浪江町において判断すること。
- (3) 浪江町において校舎等を活用しないと判断した場合には、校舎等が半壊であることや、校舎未活用における修繕等の維持管理経費などが生じることから、本検討委員会としてはやむを得ないものと捉え、解体等を含めた適切な対応を図ること。
また、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う長期避難等に起因するものであることから、環境省による施設解体などの町負担の無い対応を国や県に要望すること。
- (4) 学校敷地について復興を促進する町施策等に活用を図ること。
また、活用を行う際には、整備財源について国や県に要望すること。

3. 浪江町立学校の歴史残しに関する方策

校舎等の利活用の有無に関わらず、学校の歴史の幕が閉じていることから、学校の歴史を残すことの必要があるため、学校が思い起こされる象徴を残すなどの取組みとして、次の事項を浪江町立学校の歴史残しに関する方策とする。

- (1) 浪江町内他地区と同様の対応が望ましいことから、正門や樹木などを残すこと。なお、体育館掲揚の校歌等の学校の歴史や思い出を感じることができる資料を可能な限り保存すること。
- (2) 歴史残しの対象物については、正門や樹木などは跡地利用を勘案し集約した整備を図ること。また、移動が可能なものについては、町民が学校の歴史に触れる場の創出を図ること。
- (3) 学校歴史の資料については、既存公共施設または町内に整備している収蔵施設等で適切に保管等を行うこと。
- (4) 町立学校の学校沿革・寄贈品・教育活動・保存文書・卒業作成などの物品等の保存や触れる機会の創出に考慮するものとする。

○学校の歴史残しの対象物

浪江町内他地区と同様の対応が望ましいことから、次に示す物品等を残すこと。

学 校 名	門 扉	樹 木	その他
津島小学校	正門		像・石碑
津島中学校	正門		石碑
(参考) 浪江小学校	正門		石碑
(参考) 幾世橋小学校	正門	白檀など	像・石碑
(参考) 大堀小学校	正門	柿の木	像・石碑
(参考) 荻野小学校	正門	庭・松	石碑
(参考) 浪江中学校	正門		石碑

なお、上記表に限らず、体育館掲揚の校歌等の学校の歴史や思い出を感じることができる資料を可能な限り保存すること。

また、学校跡地の碑の整備や各学校のデータ化など、学校が所在したことを後世に残す取組みを図ること。

4. 留意事項

- (1) 本答申の推進にあたっては、行政のみではなく、町民や関係団体等の多様な主体と一丸となって取組むこと。
- (2) 子どもたちや地域住民の浪江町立学校への願いを大切にすること。
- (3) 閉校となる浪江町立学校の歴史等について、町や地域、町民等との結びつきに資するよう大切にすること。
- (4) 浪江町立保育所、公民館についても浪江町立学校と同様の扱いとして取組むこと。
- (5) 本答申に固執することなく、復興に関する事業を推進するために、実施時期を前倒しする必要がある場合は、柔軟に対応すること。
- (6) 浪江町立学校の校舎等に関する取組みについて、必要な事項を国や県へ要望していくこと。

5. 浪江町立学校校舎等検討委員会委員名簿

委員会役職	氏 名	役職等	備 考
委員長	末永 一郎	津島行政区長会長	手七郎行政区長
副委員長	石井 ひろみ	元津島公民館長	
委員	福島 衛治	羽附行政区長	
委員	氏家 高志	津島行政区長	第2回から
委員	今野 秀則	下津島行政区長	前浪江町教育委員会教育委員
委員	紺野 宏	南津島上行政区長	
委員	三瓶 禎信	南津島下行政区長	第2回から
委員	今野 義人	赤字木行政区長	
委員	佐々木 保彦	大昼行政区長	前浪江町教育委員会教育委員
委員	石井 絹江	石井農園代表	元町職員
(委員)	高橋 美雄	前津島行政区長	第1回まで
(委員)	古山 久夫	前南津島下行政区長	第1回まで

6. 浪江町立学校校舎等検討委員会の経緯

回	開催日時・開催場所	議事内容
第1回	令和3年12月23日(木) 10:00～11:30 浪江町役場 301 会議室	委員委嘱、諮問 ①検討委員会スケジュールについて ②学校校舎等の現状について
第2回	令和4年5月19日(木) 13:30～16:05 現地、津島中学校体育館	現地視察 ①検討委員会概要説明・振り返りについて ②検討委員会スケジュールについて
第3回	令和4年6月29日(水) 13:30～14:40 つしま活性化センター	①振り返りについて ②現地視察を受けての学校施設等の利活用について ③学校校舎等の修繕・維持管理等について
第4回	令和4年7月28日(木) 13:30～14:45 ふれあい交流センター会議室	①振り返りについて ②利活用方法の整理及び各地区の保管物品の確認について ③答申案について
第5回	令和4年9月2日(金) 14:30～15:40 浪江町役場 301 会議室	①振り返りについて ②各地区の保管物品の確認について ③答申案について